

人命救助・初期消火に協力

大河原消防署から

人命救助の感謝状

◆勤務先から自家用車で帰宅途中、村田町沼田字蛇沢地内の一般住宅の火災の現場を通りかかったところ、台所の勝手口で避難できずに腰を下ろしている足の不自由な高齢者を発見し、身の危険を顧みず早期に救出したとして、大河原消防署長から感謝状を贈呈しました。

◆表彰を受けたのは、大河原町の鯨岡裕美さん



角田消防署から感謝状

◆適切な初期消火、一一九番通報、さらに避難誘導により住宅火災の延焼拡大を未然に防いだとして、角田消防署長から感謝状を贈呈しました。

◆火災は、七月三日午後四時四十五分頃、丸森町内の一般住宅の火災の現場を通りかかったところ、台所のてんぷら油が燃え、黒い煙が噴き出しているのを発見し、直ちに消火器

で火を消し止め、さらに一一九番通報し大事に至らなかった。

◆表彰を受けたのは、丸森町の星とみ子さん(写真左から二番目)、結城めぐみさん(写真右から二番目)の二人。



天ぷらなべ火災に 要注意!

「離れるな
離れるときは火を消して」

最近、建物火災の中で、天ぷらなべ(揚げもの)が原因とする火災が増えています。

▼「天ぷら油があたたまるまで他の部屋で掃除を・・・」

▼「電話が来たので、つい長電話を・・・」

■天ぷら油自体が燃える!

- ・170℃～180℃揚げもの適温
 - ・250℃ 白煙が出る
 - ・300℃ 激しく白煙・刺激臭
 - ・340℃～370℃ 発火する!
- 天ぷらなべの火災は、油自体が高

温の状態です。燃えています。ぬれたシート等で覆って消えたとおもっても、シート等をはがさないこと。消火器は、十分にかけてください。

油の温度が下がっていないければ、再び燃え出します。

なべも油も高温なので、移動しようとしてやけどを負ってしまいます。消火スイッチや元栓で、ガスを遮断することが大事です。



◎「過熱防止装置」の活用を!

お湯は100℃で蒸発するが、油はまだまだ上がりま

す。温度が二五〇℃になると自動的にガスを止める「過熱防止装置」の付いている火口で、揚げ物をして下さい!

◎離れるときは火を消して!
◎壁や天井は燃えにくい耐火ボード等で!

暖房器具火災防止!

暖房器具の安全度チェックをしましょう。

□カーテンや燃えやすいもののそばで使用していませんか?

□使用前に点検しましたか?

□不在になる時消していますか?



□ストーブに給油の際、灯油であることを確かめて! 火が消えてから給油を!

□電気ストーブ・こたつは、消した後、プラグを抜きますか?

□電気こたつの布コード、見えないところで磨り減っていませんか?

いざという時のために

・住宅用火災警報器

・消火器を備えておきましょう!



消火栓の除雪にご協力を!

積雪時には、地下消火栓のふたが雪の下に隠れ、消火活動に支障が出る場合があります。

消防職員や地元の消防団員が除雪をしていますが、管内の消火栓を一斉に除雪することは難しいことです。

近くに消火栓(特に地下消火栓)がある場合は、家の周りの除雪と併せて、消火栓周囲の除雪にご協力をお願いします。

